

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公表番号】特表2017-509181(P2017-509181A)

【公表日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2016-543219(P2016-543219)

【国際特許分類】

H 04 S	1/00	(2006.01)
H 04 R	1/00	(2006.01)
H 04 R	3/00	(2006.01)
H 04 S	7/00	(2006.01)
G 06 F	3/01	(2006.01)

【F I】

H 04 S	1/00	2 0 0
H 04 R	1/00	3 1 0 G
H 04 R	3/00	3 1 0
H 04 S	1/00	5 0 0
H 04 S	7/00	3 0 0
G 06 F	3/01	5 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

オーディオパラメータをジェスチャに基づいて修正する方法であって、
 ユーザの手に関連したセンサデータを取得し、
 前記センサデータを分析して少なくとも1つの手の位置を決定し、
 前記少なくとも1つの手の位置に基づいて手のジェスチャを検出し、
 前記手のジェスチャに対応して、オーディオストリームに関連した空間オーディオパラメータを修正して、修正されたオーディオストリームを生成し、
 前記修正されたオーディオストリームを前記ユーザに出力するために再生させることを含む、方法。

【請求項2】

前記空間オーディオパラメータの修正が、音響空間の第1の側に向かって前記オーディオストリームに含まれた第1のオーディオイベントを移動することと、前記音響空間の第2の側に向かって前記オーディオストリームに含まれた第2のオーディオイベントを移動することと、を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記センサデータを分析することが、前記手のジェスチャが開始された第1の手の位置を決定し、前記手のジェスチャが完了された第2の手の位置を決定することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記空間オーディオパラメータを修正することが、前記第2の手の位置に関連する、音

響空間の第2の位置に向かって前記第1の手の位置に関連する、前記音響空間の第1の位置から前記オーディオストリームに含まれたオーディオイベントを移動することを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記手のジェスチャが把持ジェスチャを含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記空間オーディオパラメータを修正することが、物理モデルを介して、前記オーディオイベントに対応する第1の仮想物体と、前記ユーザの前記手に対応する第2の仮想物体との間の相互作用を決定することをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記センサデータが画像データと奥行きデータのうち少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記手のジェスチャを検出することが、前記少なくとも1つの手の位置と前記オーディオストリームに含まれたオーディオイベントに関連する仮想物体との間の交差を検出することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記少なくとも1つの手の位置と前記仮想物体との間の前記交差の検出に対応して、聴覚フィードバックと触覚フィードバックのうち少なくとも1つを生成させることをさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

ジェスチャに基づいてオーディオパラメータを修正するシステムであって、ユーザの手に関連したセンサデータを取得するよう構成された少なくとも1つのセンサと、

前記少なくとも1つのセンサに連結された処理装置であって、
少なくとも1つの手の位置を決定するために前記センサデータを分析し、
前記少なくとも1つの手の位置に基づいて手のジェスチャを検出し、
前記手のジェスチャに対応して、オーディオストリームに含まれた第1のオーディオイベントを音響空間の第1の位置から前記音響空間の第2の位置へと移動して修正されたオーディオストリームを生成するよう構成された処理装置と、

前記処理装置に連結され、前記修正されたオーディオストリームを再生するよう構成されたスピーカと、を備えるシステム。

【請求項11】

前記音響空間の第1の側に対応する前記第2の位置と、前記処理装置が、さらに、前記手のジェスチャに対応して、前記オーディオストリームに含まれた第2のオーディオイベントを前記音響空間の第2の側へと移動するよう構成された、請求項10に記載のシステム。

【請求項12】

前記手のジェスチャが分割ジェスチャを含む、請求項11に記載のシステム。

【請求項13】

前記処理装置が前記センサデータを分析して、前記手のジェスチャが開始された第1の手の位置と、前記手のジェスチャが完了された第2の手の位置を決定するよう構成され、前記音響空間の前記第1の位置が前記第1の手の位置と関連し、前記音響空間の前記第2の位置が前記第2の手の位置と関連する、請求項10に記載のシステム。

【請求項14】

前記手のジェスチャが、押圧ジェスチャとスワイプジェスチャのうち少なくとも1つを含む、請求項13に記載のシステム。

【請求項15】

前記処理装置が、前記第1のオーディオイベントを、頭部伝達関数に基づいて、前記音響空間の前記第1の位置から前記音響空間の前記第2の位置へと移動するよう構成された

、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 16】

処理装置によって実行されるときに、命令を含む非一時的なコンピュータ可読記憶媒体であって、

ユーザの手に関連したセンサデータを取得し、

前記センサデータを分析して第 1 の手の位置と第 2 の手の位置とを決定し、

前記第 1 の手の位置と前記第 2 の手の位置に基づいて手のジェスチャを検出し、

前記手のジェスチャに対応して、オーディオストリームに関連した空間オーディオパラメータを修正して、修正されたオーディオストリームを生成し、

前記修正されたオーディオストリームを前記ユーザに出力するために再生させる、工程を実行することにより、前記処理装置にジェスチャに基づいてオーディオパラメータを修正させる記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

有利には、この開示された技術はユーザが、オーディオイベントが音響空間内で再生される位置を修正することを可能にする。例えば、ユーザは直感的に、オーディオイベントと関連した仮想物体を把持し、仮想物体を仮想 3 次元音響空間内の所望の位置に再配置し得る。したがって、オーディオイベントは音響空間内に再配置されてよく、ユーザが、多数のオーディオイベントを同時に効果的に聴取及び／または相互作用することを可能にする。また、ユーザが仮想 3 次元音響空間内にオーディオイベントを再配置するのをさらに支援するために、ユーザの手がオーディオイベントと関連した仮想物体に隣接した時に、聴覚フィードバック及び／または触覚フィードバックが、ユーザに提供され得る。

本願明細書は、例えば、以下の項目も提供する。

(項目 1)

オーディオパラメータをジェスチャに基づいて修正する方法であって、

ユーザの手に関連したセンサデータを取得し、

前記センサデータを分析して少なくとも 1 つの手の位置を決定し、

前記少なくとも 1 つの手の位置に基づいて手のジェスチャを検出し、

前記手のジェスチャに対応して、オーディオストリームに関連した空間オーディオパラメータを修正して、修正されたオーディオストリームを生成し、

前記修正されたオーディオストリームを前記ユーザに出力するために再生させることを含む、方法。

(項目 2)

前記空間オーディオパラメータの修正が、音響空間の第 1 の側に向かって前記オーディオストリームに含まれた第 1 のオーディオイベントを移動することと、前記音響空間の第 2 の側に向かって前記オーディオストリームに含まれた第 2 のオーディオイベントを移動することと、を含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 3)

前記センサデータを分析することが、前記手のジェスチャが開始された第 1 の手の位置を決定し、前記手のジェスチャが完了された第 2 の手の位置を決定することを含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 4)

前記空間オーディオパラメータを修正することが、前記第 2 の手の位置に関連する、音響空間の第 2 の位置に向かって前記第 1 の手の位置に関連する、前記音響空間の第 1 の位置から前記オーディオストリームに含まれたオーディオイベントを移動することを含む、

項目 3 に記載の方法。(項目 5)

前記手のジェスチャが把持ジェスチャを含む、項目 4 に記載の方法。

(項目 6)

前記空間オーディオパラメータを修正することが、物理モデルを介して、前記オーディオイベントに対応する第 1 の仮想物体と、前記ユーザの前記手に対応する第 2 の仮想物体との間の相互作用を決定することをさらに含む、項目 4 に記載の方法。

(項目 7)

前記センサデータが画像データと奥行きデータのうち少なくとも 1 つを含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 8)

前記手のジェスチャを検出することが、前記少なくとも 1 つの手の位置と前記オーディオストリームに含まれたオーディオイベントに関連する仮想物体との間の交差を検出することを含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 9)

前記少なくとも 1 つの手の位置と前記仮想物体との間の前記交差の検出に対応して、聴覚フィードバックと触覚フィードバックのうち少なくとも 1 つを生成させることをさらに含む、項目 8 に記載の方法。

(項目 10)

ジェスチャに基づいてオーディオパラメータを修正するシステムであって、ユーザの手に関連したセンサデータを取得するよう構成された少なくとも 1 つのセンサと

前記少なくとも 1 つのセンサに連結された処理装置であって、

少なくとも 1 つの手の位置を決定するために前記センサデータを分析し、

前記少なくとも 1 つの手の位置に基づいて手のジェスチャを検出し、

前記手のジェスチャに対応して、オーディオストリームに含まれた第 1 のオーディオイベントを音響空間の第 1 の位置から前記音響空間の第 2 の位置へと移動して修正されたオーディオストリームを生成するよう構成された処理装置と、

前記処理装置に連結され、前記修正されたオーディオストリームを再生するよう構成されたスピーカと、を備えるシステム。

(項目 11)

前記音響空間の第 1 の側に対応する前記第 2 の位置と、前記処理装置が、さらに、前記手のジェスチャに対応して、前記オーディオストリームに含まれた第 2 のオーディオイベントを前記音響空間の第 2 の側へと移動するよう構成された、項目 10 に記載のシステム

。

(項目 12)

前記手のジェスチャが分割ジェスチャを含む、項目 11 に記載のシステム。

(項目 13)

前記処理装置が前記センサデータを分析して、前記手のジェスチャが開始された第 1 の手の位置と、前記手のジェスチャが完了された第 2 の手の位置を決定するよう構成され、前記音響空間の前記第 1 の位置が前記第 1 の手の位置と関連し、前記音響空間の前記第 2 の位置が前記第 2 の手の位置と関連する、項目 10 に記載のシステム。

(項目 14)

前記手のジェスチャが、押圧ジェスチャとスワイプジェスチャのうち少なくとも 1 つを含む、項目 13 に記載のシステム。

(項目 15)

前記第 1 の手の位置と前記第 2 の手の位置との間の距離を決定することによって、前記処理装置が、前記第 1 の前記オーディオイベントを移動するよう構成された、項目 13 に記載のシステム。

(項目 16)

前記少なくとも 1 つのセンサが第 1 のセンサと第 2 のセンサを備え、前記処理装置が、前記第 2 のセンサの第 2 の位置に対して前記第 1 のセンサの第 1 の位置を決定することにより、前記少なくとも 1 つの手の位置を決定するよう構成された、項目 10 に記載のシステム。

(項目 17)

前記処理装置が、前記第 1 のオーディオイベントを、頭部伝達関数に基づいて、前記音響空間の前記第 1 の位置から前記音響空間の前記第 2 の位置へと移動するよう構成された、項目 10 に記載のシステム。

(項目 18)

前記少なくとも 1 つの手の位置と前記第 1 のオーディオイベントに関連した仮想物体との間の交差の検出に対応して、触覚フィードバックを生成するよう構成されたフィードバック装置をさらに備える、項目 10 に記載のシステム。

(項目 19)

前記処理装置が、前記少なくとも 1 つの手の位置と前記第 1 のオーディオイベントに関連した仮想物体との間の交差の検出に対応して、前記スピーカに聴覚フィードバックを生成させるようさらに構成された、項目 10 に記載のシステム。

(項目 20)

処理装置によって実行されるときに、命令を含む非一時的なコンピュータ可読記憶媒体であって、

ユーザの手に関連したセンサデータを取得し、

前記センサデータを分析して第 1 の手の位置と第 2 の手の位置とを決定し、

前記第 1 の手の位置と前記第 2 の手の位置に基づいて手のジェスチャを検出し、

前記手のジェスチャに対応して、オーディオストリームに関連した空間オーディオパラメータを修正して、修正されたオーディオストリームを生成し、

前記修正されたオーディオストリームを前記ユーザに出力するため再生成する、工程を実行することにより、前記処理装置にジェスチャに基づいてオーディオパラメータを修正させる記憶媒体。